

# 四国植物防疫研究

第 23 号

1988年（昭和63年）9月

## 目 次

生体防御システム —植物の病気はなぜ自然治癒するのであろうか？— .....	浅田泰次.....	1
害虫の総合防除.....	小山重郎.....	5
圃場より分離したイネ紋枯病菌のバリグマイシンA感受性検定法の一事例 .....	末富敬止郎・片山俊郎・吉見里子・大原一能.....	7
イネばか苗病に対する各種E B I剤の効果.....	安永忠道.....	15
ムギ類赤かび病の発生と気象との関係.....	上田 進.....	21
エンドウべと病に対する薬剤の防除効果.....	金磯泰雄・原田真治.....	29
タマネギの <i>Botrytis</i> 属菌による葉枯症に対する各種薬剤の防除効果 .....	安永忠道・青井俊雄・重松喜昭.....	35
栽培条件がトマト斑点細菌病の発生に及ぼす影響.....	金磯泰雄・貞野光弘.....	39
人工条件下での氷核活性細菌による野菜の凍害発生に及ぼす諸要因の影響 .....	後藤孝雄・稲葉忠興・後藤正夫.....	47
氷核活性細菌 <i>Xanthomonas campestris</i> によるブロッコリーの凍害の防止に対する 殺菌剤の効果.....	後藤孝雄・稲葉忠興・後藤正夫.....	57
カボチャ台接ぎ木キュウリの萎凋株から分離されたキュウリモザイクウイルス およびズッキーニ黄斑モザイクウイルス.....	岩崎真人・稲葉忠興.....	61
農地土壌中の有機塩素系殺虫剤 —高知県香長平野での調査例— .....	平野千里・鈴木秀昭・堀池道郎.....	73
昭和62年度病害虫発生の特徴とその対策ならびに防除上の問題点.....		81
本会記事.....		96